

田子町訪問看護ステーション事業経営戦略

団 体 名 : 青森県田子町

事 業 名 : 田子町訪問看護ステーション(介護サービス事業)

策 定 日 : 令和 3 年 2 月

計 画 期 間 : 令和 3 年度 ~ 令和 12 年度 (10年間)

1 経営の基本方針

田子町訪問看護ステーションでは、看護師がご自宅を訪問して、主治医の指示や連携により行う看護をいたします。病気など、また医療機器を使用しながらでも住み慣れたご自宅で暮らせるよう他職種と連携しながらご本人・ご家族をサポートしていきます。公立のステーションであることから、利益重視のみの事業展開を図ることはなじみませんが、公営企業の目的である、公の福祉向上のため、最小の経費で最大の効果を上げ、かつ自立した運営を図り事業の継続運営を行うためには必要な利益を求めていかなければなりません。田子町訪問看護ステーションでは、在宅で安心して暮らせるよう利用者のニーズに応えていきます。その結果、たくさんの方々から利用していただき、安定した経営ができるよう取り組みます。

2 効率化・経営健全化の取り組み

特別会計で財政運営しているが、総収入の半分以上が一般会計からの繰入金によるものとなっています。歳出の大部分は人件費となっています。繰入金を減少させるために、利用者の増加につながる早急な対応が必要となっています。訪問看護ステーションは田子町国民健康保険保健福祉センターの2階に事務室があり、資本としては訪問用の車両2台が存在する程度です。収入については、きめ細やかなサービスを利用者に提供できるように、職員一人ひとりが意識改革を進め、多数の研修会に参加しました。その結果、質の良いサービスが提供できました。定員の部分では、介護保険法の規定に基づく人員基準に基づき職員を配置しています。

3 投資・財政計画(収支計画)

(1)投資・財政計画(収支計画):別紙のとおり

(2)投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

①経営指標に係る目標数値

在宅サービス受給者が減る中、現状維持程度の利用人数を保てるよう月の平均の利用人数を介護・医療合わせて10人、利用回数55回を目標とする。人件費削減や計画的な備品等の資本(財産)整備を行ったうえで、実質単年度収支の黒字になるよう努めます。R1の状況 月平均12人 利用回数68回

②収支計画のうち投資についての説明

投資はありません。

③収支計画のうち財源についての説明

見込むことが出来る財源は介護サービス収入、財源の不足分については一般会計繰入金で補填します。

④収支計画のうち投資以外の経費についての説明

大部分は人件費。その他、業務委託料・需用費等の内部管理経費となっています。

4 将来の事業環境等

(1)介護保険サービス事業における主な取組

田子町訪問看護ステーションでは、看護師がご自宅を訪問して、主治医の指示や連携により行う看護をいたします。病気など、医療機器を使用しながらでも住み慣れたご自宅で暮らせるよう、他職種と連携しながらご本人・ご家族をサポートしていきます。

(2)高齢者人口等の予測

本町は、高齢・過疎化の進行した町です。高齢化率は、令和3年1月末現在既に40%を超えており超高齢化となっております。若者の町外流出に伴う人口減少により、今後も高齢化率は上昇するものと考えられ、田子町高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画では、令和7年には45%の予測となります。しかし、高齢者の人口は頭打ちとなりつつあり、介護需要も横ばいではないかと推測されます。

(3)施設の見通し

当ステーションは、田子町国民健康保険保健福祉センターの2階に事務室があり、平成7年に建物が建てられたものであり、まだ問題なく使用できている。今後は、老朽化により建物の修繕等が発生した場合は、早急に対応する。

(4)組織の見通し

人員の状況

看護師：現段階で不足している状況であり、最後に採用してから20数年経過しています。ここ数年で退職者も多数出ることから喫緊の課題となり、これまで以上に採用行動を強化する必要があります。

5 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

田子町訪問看護ステーション事業経営戦略の実現に向けては、その実施状況を定期的に把握し、点検・評価を行います。なお、施設を取り巻く情勢の変化や「田子町訪問看護ステーション事業経営戦略」の進捗状況等により、「経営戦略」の目標数値の達成が困難であるときは、必要に応じて見直しを検討します。

